



熱気に包まれた会場

工 業  
商 観

## 市内に就職先を求めて熱気 庄原市合同就職面接会

市とハローワーク庄原が共同で主催する「庄原市合同就職面接会」を11月14日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

この面接会は、昨今の低迷する雇用情勢の中、市内の企業とその事業内容を広く周知するとともに、市内での就職を促進し、定住者の増加をめざすことを目的に開催しています。2年目となった今年は、高校生4人をはじめ、20代から30代の若者を中心に総勢59人の求職者が会場を訪れ、会場内にブースを構えた20の

企業の中から、就職を希望する企業の面接に臨みました。

訪れた求職者は、厳しい雇用情勢に負けまいと、企業の担当者の説明に聞き入ったり、自己アピールで意気込みを伝えたりするなど、各ブースは熱気に包まれていました。

涯 課  
生 学 習

## 実業団の選手から 基本技術などを学ぶ レベルアップスポーツ教室開催

庄原市レベルアップスポーツ教室を11月6日、市総合体育館で開催しました。

今回で3回目となるバレーボール教室に、市内小学生6チーム66人が参加。講師のマツダ女子バレーボール部の選手13人から、パスやレシーブ、基本技術などを学びました。また、夢を持つことの大切さを学ぶ講演では、選手や監督などの体験談に耳を傾け、努力する大切さを学びました。

教室終了後はサイン会が開かれ、講師とのふれあいの時間を楽しみました。



レシーブの指導を受ける子どもたち

参加した井西みきさん(比和小6年)は「やさしく、丁寧に教えてもらってよかった。来年も参加したい」と話していました。



文字資料を基に解説する西別府教授

涯 課  
生 学 習

## 郷土の歴史に目を向ける 地域アカデミー講座「古代備北の鉄生産」開催

広島大学歴史文化化学講座と共催する地域アカデミー講座を11月7日、西城公民館で開催しました。

今回は、「古代備北の鉄生産」をテーマに、広島大学の西別府元日教授と古瀬清秀教授が、「鉄作り」が古代の庄原で重要な産業であったことを、

身近な話題を交えながら解説。

市内には、庄原の歴史を物語る山城跡やたたら跡といった貴重な文化財があり、これらに目を向ける絶好の機会となりました。

参加者は「身近な歴史について勉強することは、郷土を大切にしておく上でとても重要。庄原に住む若い方たちが積極的に参加することで、地域の活性化につながるのでは」と話していました。

今回は「甲山城と山内首藤氏」をテーマに、来年3月ごろに開催する予定です。戦国時代の庄原を学んでみませんか。ぜひご参加ください。

涯 課  
生 学 習

## 愛称は「庄原さくら球場」 庄原市運動広場の愛称が決定!

庄原市運動広場の愛称が、田中秋人さん(板橋町)の応募作品「庄原さくら球場」に決定しました。

愛称は、8月15日から募集を始め、市内外から237作品が応募。その中から愛称となる最優秀賞1作品

と優秀賞2作品が選ばれました。また、この作品の表彰式が、10月17日に庄原市運動広場で開催された。第34回青少年健全育成野球大会の開会式に先立ち行われました。表彰式では、最優秀作品と優秀作品の受賞者に、辰川五朗教育長がそれぞれ賞状と副賞を授与。愛称が発表されると、場内に大きな拍手が沸き起こり、参加者みんなで愛称決定を喜びました。



表彰を受ける受賞者。右端から竹下等さん(優秀)、田中秋人さん(最優秀)、田中弘子さん(優秀)



設置された愛称プレート

これから、「庄原さくら球場」の愛称が市民の皆さんに浸透し、もっと多くの方に利用される球場になることを期待しています。

政策推進課  
環境衛生課

## バイオマスと環境のイベントを 同日開催

「しようばらバイオマスフォーラム2010」と「庄原市リサイクルフェスタ」が11月13日、リサイクルプラザで開催されました。

両イベントが同日開催2年目となる今年は、600人を超える人が来場。バイオマスフォーラムでは、ペレットストーブの展示即売や竹・木材を利用した商品の紹介・販売、間伐材を使ったペン立て作りのほか、竹の活用に関する講演などに多くの人が集まりました。

また、リサイクルフェスタでは、環境ポスター・標語コンクールの表彰式やリサイクル品の販売、不用になつたおもちゃをポイントで交換する「かえっこバザール」などが催され、大人から子どもまでが環境とバイオマスを楽しんで学んだ一日となりました。



環境ポスター・標語コンクールの受賞者



間伐材でペンたてを作る子どもたち